木村新知事が誕生

北村氏の5選阻む

新人2女性浸透できず

青森県民は「変革」を選択した。任期満了に伴う第十四回県知事選は告示後繰り広げられた激戦の末、無所属新人で新進党・公明推薦の前県議士木村守明氏(六〇)が二十三万三千九百二十六票を獲得、五選を狙った現職北村正哉氏(七八)=無所属、自民党推薦=を激戦の末、約一万六千票差で破り、初当選を果たした。大下由宮子氏(五九)=無所属、社会党推薦=、西脇洋子氏(五一)=諸派、共産党推薦=の両新人は大きく後退、区政都市部では四期十六年ぶりに北村県政にピリオドを打ち、木村氏に県政の舵取りを託したが、一方、政界再編のうねりを象徴した県政界には波乱が走り、今後も政局含みの展開となるのは必至。統一地方選、参院選を控え一連の選挙に大きな影響を与えるとみる。【2、16、17面関連記事】

代議士から知事への転身を期待に乗せた木村守明氏(左)=二八三票で支えた田名部代議士、松岡参院議員

自民、北村氏に新進・木村氏による事実上の一騎打ちとなった選挙戦の一時打ち目を迎えた。

しかし、政策的争点は「継続」か「交代」か、を「自民対新進」全面対決のしゃ、北村氏に対する高齢、多選批判と実績への評価をしゃ甘めさあいを演じた。

投票は六一・九%と前回を下回った。

代議士から転身した木村氏は初当選を飾った木村守明氏。

初当選を飾った木村守明氏は選挙事務所で記者会見し、「県政の強い希望と天命の責任感を得られた結果だと思う。支援を頂いた方々に政党の結束が大きいと勝因分析。「責任の重大さを痛感するとともに、分かりやすい政策を目指して問題を煮詰めて公約の実行に入る」と、強い意欲を示した。

自民、新進党の保守二大政党時代に本格突入したことで、候補対策が全国的問題に対しては「あまり心配はしていない。与野党各会派と力づくで話し合いを継ぎ、県政の運営を目指していくこともに明確にした。

具体的政策として産業振興策と雇用の確保を掲げ、「農水産業を基幹とした県独自の事業推進と、地場産業支援策などの検討」に取り組むとした。

また、「注目される副知事をはじめとする県庁人事については、はっきりと民状勘案して」

木村氏会見

県民の良識得られた

円満な県政運営目指す

自民党の推薦を受けた北村氏は、選挙事務所で共同インタビューに応じ、敗因を「高齢・多選批判であると」とは否定できないとした。

北村氏は、「選挙中、相手陣営から長期の多選であるとしきりにじゃ」と宣伝されたが、多選のメリットなどを説明してきたつもりだが、

高齢・多選批判は否定できない

北村氏会見

五選を通した北村正哉氏は、選挙事務所で共同インタビューに応じ、敗因を「高齢・多選批判であると」とは否定できないとした。

北村氏は、「選挙中、相手陣営から長期の多選であるとしきりにじゃ」と宣伝されたが、多選のメリットなどを説明してきたつもりだが、

下田町長に袴田氏再選

新人の下川原氏に大差

任期満了に伴う上北郡下田町長選挙は五日投開票が行われ、即日開票の結果、現職の袴田健義氏(七〇)=無所属=が新人の下川原孝敏氏(五一)=同=に二千二百票余の大差をつけて圧勝、二期目の当選を果たした。

袴田氏は、町議の過半数の支持を受け、町内全域に浸透。後援会組織が選挙ムードを盛り上げるなど、現職の強味を生かし切った。

今回の選挙戦は、四十三歳という極端な年齢差が話題となったものの、それ以外に朝鮮半島情勢などが争点となったこともあって、町民の期待の大きさが感じられる。

敗れた下川原氏は「子育て世代を考える時期」、これまでの感覚とは違った新感覚を訴えた。今後、精いっぱい政策作に努めたい」とにっこりとほほ笑んだ。

投票率は昭和五十三年四月の六一・七一%に次いで過去二番目に低い七四・〇%だった。

下田の選挙事務所に吉報が伝えられると、周辺に詰めかけた約二百人の支持者から「万歳」の声が何度も響き渡った。

袴田氏は「子育て世代を考える時期」、これまでの感覚とは違った新感覚を訴えた。今後、精いっぱい政策作に努めたい」とにっこりとほほ笑んだ。

敗れた下川原氏は「私の不徳の教すとこころ、次は雪辱を果たしたい」と声を落とした。

投票率は62・19%

市町村別で最も投票率が高かったのは、五一・七%の下北郡大間町だった。

告示日の投票が行われた青森県知事選挙の投票率は、一〇五万、六三二人(前回比マイナス一・〇%)となった。史上三位の低投票率。平均で六二・一九%(前回六二・六九%)を記録した前回を下回った。

市町村別で最も投票率が高かったのは、五一・七%の下北郡大間町だった。

下北郡大間町は前回の六六・一八%を下回る五八・八%。二番目に低かったのは、南部町の五六・〇%。最も低かったのは、十和田市の五四・〇%。

核燃サイクル施設が進む上北郡六ヶ所村は六二・三〇%。核燃施設設置最大の争点となった前回より八・三七ポイント減少した。

デーリー東北

発行所
デーリー東北新聞社
平成7年1月1日
八戸市城下一丁目3-12
電話0178(44)5111
振替口座 青森6-4212
©デーリー東北新聞社1995

十 青木内科
内科・神経科
神経科は毎月第1・3火曜日午後12時から13時30分まで
八戸市小中野三丁目25-7
小中野駅徒歩7分、西へ歩いて3分
TEL0178(46)2131(代)

青森県知事選開票結果 選管最終

当選 三二三、九二八票 木村 守男57 無所属新
二九七、七六一票 北村 正哉78 無所属現
五九、一〇一票 大下由宮子58 無所属新
二九、七五九票 西脇 洋子51 諸派 新

▽有権者数一、一四八、六九一人 ▽投票総数七一四、三三三票
▽有効投票七一〇、五四九票 ▽投票率六二・一九%

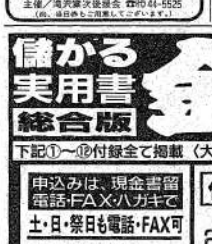
ダルマに目を入れ再選を喜ぶ袴田氏(左)

開票結果 選管最終

当選 四、〇三〇 袴田 健義70 無現
一、七八二 下川原孝敏27 無新

▽有権者数七、九四〇人 ▽投票総数五、八七七票
▽有効投票五、七九一票 ▽投票率七四・〇%

安達内科 胃腸科
八戸市馬場町(東北電力じい隣)☎0178(22)4818



第18回 滝沢章次を囲む
躍進の集い
●とき 2月11日(土) 懇談会の日 午後6時半より
●ところ 八戸パークホテル
●会費 2,000円
主催/滝沢章次後援会 ☎(0178)44-5525
(当日、会場から直接来てください)

下長内科クリニック
内科・消化器科・神経内科・皮膚科
■診療時間 月~金 AM9:00~PM0:30 PM2:00~PM6:30
院長 三上信久
第1・3水、毎週土 AM9:00~PM0:30
日曜・祝日休診
(急患の場合はこの限りではありません)
八戸市下長三丁目21-15 ☎(0178)28-5040

天鐘

大下、西脇氏の供託金没収

今選挙の法定得票数は十七万七千六百二十七票、供託金の没収点が二万二千七百二十五票。大下由宮子、西脇洋子の両氏は選挙戦に敗れ供託金三百万円が没収となった。

長期政権の北村さんが、ついにダウンした。ズシズシ踏み続ける重の重のような感覚追力迫力に、木村さんに、土俵際で、きっつい逆転の一発を待ち受ける思い。▼百聞は、つばめ返しの、どんでん返しの、どんでんの、どんでんの、どんでん